

第35期報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

株式会社キョウデン

証券コード 6881

株主の皆様へ



株主の皆様には日頃より格別のご支援を賜り厚 くお礼申しあげます。

当社は、平成29年3月31日をもちまして第35期 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)を 終了いたしましたので、ここにご報告申しあげます。

平成29年6月

代表取締役社長 山口 鐘畿

■全般的な営業の概況

わが国経済におきましては、企業の収益環境が持続的に改善し、雇用所得・設備投資も緩やかな回復が続いておりますが、企業における賃金上昇の加速期待が薄いことや、景気押し上げ政策の効果も限定的にとどまる見通しなどから、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、国内電子事業において業況が堅調に推移した他、前期に実施したM&Aの効果が業績に寄与したことや海外事業部門の収支改善などにより、当連結

会計年度の売上高は53,862百万円、営業利益は2,065百万円、経常利益は1,896百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,467百万円の増収増益となり、自己資本当期純利益率(ROE)は12.4%となりました。

■主な取り組み

電子事業において、回路開発や各種解析サービス、部品調達力等の機能強化によって少量多品種領域におけるシェア拡大を図るとともに、産業機器、車載など旺盛な需要環境が続く分野につきましても引き続き拡販に向け取り組んでまいります。また当社独自の「ワンストップソリューション」(プリント配線基板の設計・製造・実装から意匠・機構部品加工・組立までを内製)の機能をベースに、製品開発から上市・アフターサービスまでのビジネスを構築すべく、新規事業本部ならびに三島開発センターを創設し、事業構造の変革に向け取り組んでまいります。海外では、調達ルートの最適化やラインの省力化・自動化に取り組むとともに、引き続き生産性および品質の改善に努めてまいります。

工業材料事業においては、既存商品の拡販、品質 改良とコスト競争力の強化、新商品・新技術の開発、 シナジーの期待できる企業との提携などにより業容 の拡大を図ります。

*

平成30年3月期の期末配当金につきましては、利益配分の基本方針に基づき、1株につき3~5円を見込んでおります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申しあげます。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

当 期 (平成29年3月31日現在)	前 期 (平成28年3月31日現在)	
26,031	28,533	
14,195	14,818	
12,365	12,912	
278	302	
1,551	1,603	
40,227	43,352	
19,889	19,846	
7,756	12,382	
27,645	32,229	
13,282	11,864	
4,358	4,358	
4,174	4,174	
5,241	3,823	
△491	△491	
△736	△769	
35	27	
12,581	11,122	
40,227	43,352	
	26,031 14,195 12,365 278 1,551 40,227 19,889 7,756 27,645 13,282 4,358 4,174 5,241 △491 △736 35 12,581	

■連結損益計算書

(単位:百万円)

是他!!!!	(単位:百万円)		
期別科目	当 期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前 期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	
売上高	53,862	51,144	
売上原価	45,921	43,717	
売上総利益	7,940	7,426	
販売費及び一般管理費	5,875	5,628	
営業利益	2,065	1,797	
営業外収益	205	315	
営業外費用	374	780	
経常利益	1,896	1,332	
特別利益	75	226	
特別損失	40	1,437	
税金等調整前当期純利益	1,930	121	
法人税、住民税及び事業税	459	317	
法人税等調整額	△4	△461	
当期純利益	1,475	265	
非支配株主に帰属する 当期純利益	7	6	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,467	259	

■貸借対照表のポイント

総資産

現金および預金が2,461百万円、有価証券が500 百万円、原材料および貯蔵品が218百万円、有形 固定資産が547百万円減少しましたが、受取手形 および売掛金が781百万円増加しました。

負債

借入金が4,460百万円、社債が798百万円減少しましたが、支払手形および買掛金が757百万円増加しました。

純資産

利益剰余金1,418百万円の増加がありました。また、自己資本比率は31.2%となりました。

■損益計算書のポイント

前期に実施したM&Aの効果が業績に寄与したことや海外事業部門の収支改善などにより、前期に比べ売上高は5.3%増、営業利益は14.9%増、経常利益は42.3%増、親会社株主に帰属する当期純利益は465.6%増となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期別	当 期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前 期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで		
営業活動による キャッシュ・フロー	4,139	1,844		
投資活動による キャッシュ・フロー	△902	△1,169		
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,197	△1,800		
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1	△105		
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△2,961	△1,230		
現金及び現金同等物の 期首残高	8,126	9,357		
現金及び現金同等物の 期末残高	5,165	8,126		

■キャッシュ・フローのポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が1,930百万円、減価償却費が1,781百万円、仕入債務が834百万円増加し、結果として4,139百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の売却により236百万円の収入がありましたが、1,131百万円の固定資産取得があり、結

果として902百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金4,354百万円の純減少、社債の償還による 798百万円の支出、リース債務の返済による993 百万円の支出など、6,197百万円の支出となりま した。

セグメントの状況

工業材料事業 売上高 10,706百万円 19.9% 雷子重業 売上高 43,155百万円 80.1%

雷子事業

プリント配線基板設計・製造・実装 メカ・ユニット組立

国内においては、プリント配線基板関連分野全般における業況が堅調に推移し た他、前期に子会社化した株式会社キョウデンプレシジョンの業績が寄与しまし た。海外においては、ASEAN市場を中心とした車載関連の販売が引き続き順調に 推移しました。また、タイ丁場においては、継続的な人件費の高騰にさらされな がらも、生産効率面および品質面での集中的な改善活動に努めた結果、期を通し て業績が改善したことにより、グループ収支への貢献につなげることができました。 この結果、売上高は前期に比べ6.6%増の43.155百万円、セグメント利益は前 期に比べ12.4%増の1.172百万円となりました。

工業材料事業

硝子長繊維用原料 耐火物 混和材 農薬原料 各種金属・鉱産物等の加工

主要取扱品目において一部顧客の海外シフト、アジアの景気停滞や国内電炉を中心とした鉄鋼メーカーの 生産調整継続等もあり販売は全般に伸び悩みましたが、製造原価や経費の削減、生産効率化により収益確保 に努める一方で資源・エネルギー価格低下の恩恵もありました。また、前期途中で子会社化したジャンテッ ク株式会社およびツルガスパンクリート株式会社の業績が通年寄与しました。

この結果、売上高は前期に比べ0.6%増の10.706百万円、セグメント利益は前期に比べ13.2%増の892百 万円となりました。

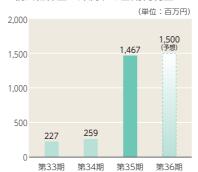
財務ハイライト



● 経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



会社の概況

■会社概要(平成29年3月31日現在)

社名 株式会社キョウデン

設立 昭和58年7月 43億58百万円 資本金

事業内容 電気・通信・音響・映像・産業用機

器等に内蔵されているプリント配線 基板の設計、製造、部品実装および

部品調達

従業員数 2,635名 (連結)

1.103名(単体)

本計 T399-4603

長野県上伊那郡箕輪町大字三日町482-1

TEL: 0265-79-0012

横浜本部 T224-0057

神奈川県横浜市都筑区川和町280

TEL: 045-929-0501

株式会社キョウデンプレシジョン 関係会社

KYODEN (THAILAND) CO., LTD.

昭和KDE株式会社

ジャンテック株式会社 他6社

http://www.kyoden.co.jp/ ホームページURI

■取締役および監査役(平成29年6月27日現在)

代表取締役社長	ШП	鐘畿
取締役	森	清隆
取締役	永沼	34
取締役	岡本	満
取締役	田中	基博
取締役	佐藤	周一
取締役	原	康三
社外取締役	長谷川	洋二
常勤監査役	北原	清
監査役	島田	清志
社外監査役	細川	清史
社外監査役	清水	純一

株主メモ

4月1日から翌年3月31日まで 事業年度 定時株主総会 6月開催

定時株主総会 3月31日 基準日 期末配当 3月31日

> 中間配当 9月30日

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先)

T 168-0063

東京都杉並区和泉二丁日8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031

(ホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/

agency/index.html

公告の方法 電子公告により当社ホームペー

ジに掲載

上場金融商品取引所 東京証券取引所

▼株式に関する住所変更等のお届出 ▼ およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託 銀行ではお手続きができませんので、取引証券会 社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電 話照会先までご連絡ください。

株式の状況

発行可能株式総数 発行済株式の総数 株主数

(平成29年3月31日現在) 200.000.000株

52.279.051株

4.859名(前期末比42名減)





